

レディース講座 各会場でスタート



1年を通して計5回の講座を全20会場でやるレディース講座が今年度も7～8月に各会場でスタート。検温や消毒など新型コロナウイルス感染拡大防止に向けた対策をとりながら、総勢900名が受講中です。今年度の共通テーマは、アートな落款づくり、筋膜リリース、薬膳について。秋には各会場ごとに野外研修を行い、2月の最終講義では、全会場の受講生が集まり、合同閉講式を行う予定です。8月11日

の中筋会場では32名が参加し、自分だけのオリジナル落款づくりに挑戦。思い思いの力作ができあがりました。



新たなスクリーンを組合員が設置 長束支店・祇園支店



8月17日、長束支店協力委員の高田義典さんが、長束支店と祇園支店のビニールカーテンが劣化していたことから、新たなスクリーンを設計・制作し、設置していただきました。



新しくなったスクリーンは来店者からも「見やすくなった」と評判が良く、両支店の職員も「お客さまの顔がよく見え、スクリーン越しでも話がしやすくなった」と協力いただいた高田さんに感謝しています。

広島ホームテレビの特別番組で 白木の大長ナスをPR

8月22日に放送された広島ホームテレビの特別番組「イケメン料理対決イケメシ」で、安佐北区白木町の「大長ナス」が、料理対決の食材として取り上げられ、白木町農事研究会ナス部会の己斐潔部会長が圃場で収穫する風景などが放送されました。JA広島市地産地消クッキングの講師を務めるANAクラウンプラザホテル広島の大森一憲シェフも料理解説者として出演されました。紹介されたレシピは番組公式HPからも確認できます。



JA広島市の総合事業を体験 インターンシップ受入れ



JA広島市では、学生が将来の職業選択の参考となるよう、インターンシップを毎年受け入れており、今年も8月13日～19日の5日間、安田女子大学と県立広島大学から5名の学生が参加しました。訪問活動への同行や窓口業務などを体験する支店実習や、農作業体験、大町青果物流センターでの野菜の袋詰め、管内産の野菜などを使った調理実習など、JAの行う総合事業について広く学んでもらいました。



自宅でも食農教育 温品支店「JAの子ども農業教室」



温品支店は8月12日、次世代を担う子どもたちに農業への理解を深めてもらおうと「JAの子ども農業教室」を開催。18名の親子が地元農家の川野勝之さん、純子さんの圃場でエダマメの収穫を体験しました。今年で9回目の取り組みですが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため内容を大幅に変更。毎年行っていた料理教室や座学の勉強会は取りやめ、代わりに「自宅での食農教育」ができるよう、イラストや写真を多く載せたエダマメの作り方の資料を作成し、



石倉悠希営農指導員が資料をもとに簡単に説明。自宅で続きを学習してもらうことで、短い時間でも楽しみながら学んでもらえるイベントとなりました。